

平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

学校法人熊本城北学園

平成 23 年度事業報告

I 法人の概要

1. 建学の理念

現代の生活者が求めているものは、医療がその原点に立ち返ることである。医療の原点とは、ただ病を治すことだけではなく、生活の中で病をとらえ、生活を通して病を克服し、さらに病にならないような健康な生活をつくりだすこと、そのための全人的援助である。すなわち人々は、医療が施設から出て自分たちの生活の中に入ってきて、その生活を心身共に援助してくれることを待望している。

言うまでもなく、そのような援助の中核となるものは、社会生活への看護福祉であり、それは勝義には保健・医療・福祉活動と称するべきものである。ここに従来の保健・医療と福祉とが出会い、一つの統合的活動となる必然性がある。

九州看護福祉大学の設立は、こうした生活する人々の渴望に呼応して立案されたものであって、その目的は保健・医療・福祉活動についての研究及び人間的知見と能力を有した人材を育てることにある。

本学が設立されるこの地は九州の中域に位し、その教育研究活動が九州全域に翼を広げることのできる最適の地である。したがって、当地は九州の全域から人材を集め、かつ、育成することのできる要所であり、保健・医療・福祉の教育研究が発展し得る拠点となり得るものである。本学は、この地に屹立して我が熊本県城北地域の人々の保健・医療・福祉に貢献し、さらには我が国の保健・医療・福祉活動に新しい方向を示し、ひいては展望を切り開くことを目指すものである。

かくして、本学は、その教育と研究において地域の人々への全人的保健・医療・福祉活動を基盤としながら、九州全域にわたる、さらには我が国の全体にわたる保健・医療・福祉活動をも射程に入れるという目標をもち、これを以て建学の理念とするものである。

3つの基本理念

1. 地域とともに成長する大学
2. 生涯にわたって学べる大学
3. 近隣諸国と学ぶ大学

5つの教育目標

1. 「こころ」豊かな人間性を培い、個性を尊重する精神を養う
2. 患者並びにクライアントとコ・メディカルスペシャリストとの間の人間関係と信頼性を確保する
3. 論理的・学際的思考力を育成し、適切、かつ、柔軟性に富んだ判断力と分析力を養う
4. 国際的な幅広い視点に立ち、最新の情報収集と情報発信能力を培うとともに、国際感覚の習得と創造的・意欲的な活動力を育成する
5. 保健・医療・福祉に関する最新の知識と技術水準を向上させる

2. 設置する法人・学校及び所在地

[法人名]	学校法人 熊本城北学園
[所在地]	熊本県玉名市富尾 888 番地
[大学名]	九州看護福祉大学（熊本県玉名市富尾 888 番地）

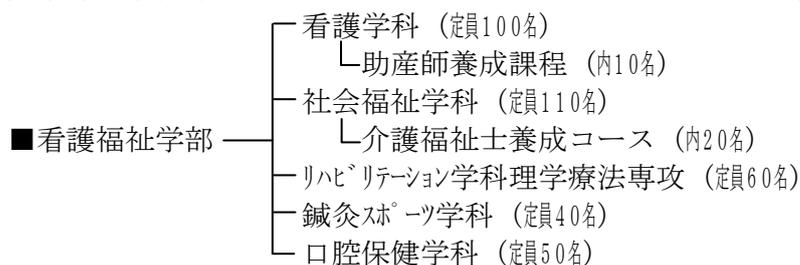
3. 沿革

年 月 日	事 項
平成7年2月	玉名市に大学設立促進室を設置
平成8年3月	財団法人九州看護福祉大学設立準備財団設立許可
平成9年12月	学校法人熊本城北学園寄附行為認可及び九州看護福祉大学設置認可
平成10年4月	九州看護福祉大学看護福祉学部（看護学科、社会福祉学科）開学
平成15年4月	大学院看護福祉学研究科（修士課程）看護学専攻を開設
平成16年2月	クラブ・サークル棟竣工
平成16年4月	社会福祉学科に介護福祉士養成コースを設置
平成17年4月	大学院看護福祉学研究科に精神保健学専攻を開設 看護学科に助産師養成課程を設置
平成18年4月	看護福祉学部にリハビリテーション学科を開設
平成18年9月	2号館・食堂棟竣工
平成18年11月	玉名市と九州看護福祉大学との連携協力に関する協定を締結
平成19年6月	アメリカ合衆国アイオワ・ウエスタン・コミュニティ・カレッジ（IWCC）と九州看護福祉大学との協力協定を締結
平成19年11月	専修大学玉名高等学校と九州看護福祉大学における高大連携に関する協定を締結
平成20年4月	九州看護福祉大学と大韓民国又石大学校との短期留学生の受け入れに関する覚書を締結
平成21年2月	日本看護系大学協議会専門看護師教育課程（がん看護）に認定
平成21年3月	玉名女子高等学校と九州看護福祉大学における高大連携に関する協定を締結
平成22年3月	3号館・柔道場、教育研究宿泊棟、多目的グラウンドナイター照明・バックネット等竣工
平成22年4月	看護福祉学部に鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科を開設
平成23年1月	九州看護福祉大学、長洲町社会福祉協議会及び長洲町における地域連携に関する基本協定を締結
平成24年4月	九州看護福祉大学附属鍼灸臨床センターを開設

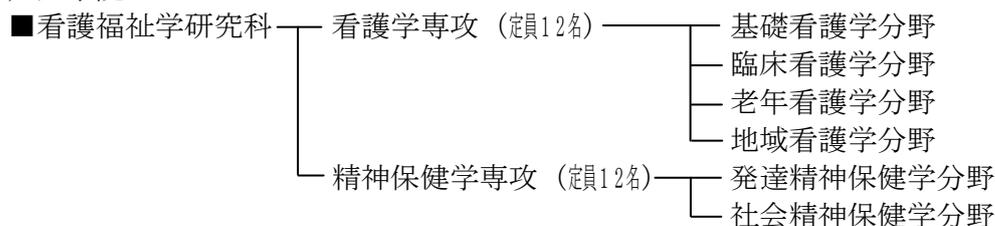
4. 大学の組織

(1) 学部・学科等

(平成 23 年 5 月 1 日現在)



(2) 大学院



5. 学生数等の状況

(平成 24 年 5 月 1 日現在)

学科等の名称(開設年度)	入学定員 (H24)	収容定員 (H24)	平成 23 年度			平成 24 年度		
			志願者数	入学者数	在籍者数	志願者数	入学者数	在籍者数
看護福祉学部								
看護学科 (H10)	100	400	936	115	534	611	115	525
社会福祉学科 (H10)	110	530	244	147	479	196	101	465
リハビリテーション学科 (H18)	60	240	333	78	304	248	80	316
鍼灸スポーツ学科 (H22)	40	120	101	62	98	87	46	138
口腔保健学科 (H22)	50	150	97	50	83	69	39	117
学部小計	360	1,440	1,711	452	1,498	1,211	381	1,561
大学院看護福祉学研究所								
看護学専攻 (H15)	12	24	8	6	19	6	6	21
精神保健学専攻 (H17)	12	24	3	3	15	3	3	16
大学院小計	24	48	11	9	34	9	9	37
合計	384	1,488	1,722	461	1,532	1,220	390	1,598

○平成 23 年度入学生の出身県別状況

		九州圏				その他	計
		熊本県	福岡県	その他	計		
入学者	看護学科	39	25	47	111	4	115
	社会福祉学科	64	27	50	141	6	147
	リハビリテーション学科	30	9	38	77	1	78
	鍼灸スポーツ学科	29	11	10	50	12	62
	口腔保健学科	18	10	18	46	4	50
	計	180 (39.8%)	82 (18.1%)	163 (36.1%)	425 (94.0%)	27 (6.0%)	452
志願者	看護学科	291	213	393	897	39	936
	社会福祉学科	107	47	84	238	6	244
	リハビリテーション学科	141	52	133	326	7	333
	鍼灸スポーツ学科	46	20	17	83	18	101
	口腔保健学科	27	27	30	84	13	97
	計	612 (35.8%)	359 (21.0%)	657 (38.4%)	1,628 (95.1%)	83 (4.9%)	1,711

*大検受験者はその他で集計

6. 役員・教職員の概要等

(1) 役員・評議員数

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

[理事長] 森 正臣
 [理事] 現員 12 名 (定数 11 ~ 14 名)
 [監事] 現員 2 名 (定数 2 名)
 [評議員] 現員 30 名 (定数 31 ~ 34 名)

理事長	森 正臣	評議員	生野 繁子
理事・評議員	二塚 信	評議員	吉光 清
理事・評議員	志賀 潔	評議員	濱田 輝一
理事・評議員	高寄 哲哉	評議員	島崎 剛
理事・評議員	前畑 淳治	評議員	坂梨 豊昭
理事・評議員	前田 移津行	評議員	上田 数吉
理事・評議員	平山 晴章	評議員	中逸 博光
理事・評議員	桑鶴 元昭	評議員	村山 栄一
理事・評議員	川原 英照	評議員	中野 哲雄
理事・評議員	米満 弘之	評議員	大嶋 壽海
理事・評議員	高木 義紀	評議員	赤木 純児
理事・評議員	佐藤 林正	評議員	杉谷 卓紀
監事	小篠 健一	評議員	鴻江 圭子
監事	有働 利昭	評議員	森重 康彦
		評議員	山本 史恵
		評議員	久和 基利
		評議員	福岡 勲
		評議員	廣田 大作

(2) 教員数

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

	教授	准教授	講師	助教・助手	総数	非常勤講師
看護学科	11	7	6	12	36	
社会福祉学科	10	7	7	3	27	
リハビリテーション学科	4	3	4	3	14	122
鍼灸スポーツ学科	4	3	2	3	12	
口腔保健学科	4	3	2	2	11	
合計	33	23	21	23	100	122

(3) 職員数

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

事務系	技術技能系	総数
37	3	40

Ⅱ 事業の概要

1. 当該年度の事業の概要

(1) 平成24年度入試における志願者増に向けての取り組み

①学生募集の強化

昨年度に引き続き、九州各県に担当者を配置し、学生募集を目的とした高等学校訪問を精力的に行った。九州・山口全県を中心に、延べ2,593校を訪問し、大学認知度の向上を図りながら入学試験を中心に情報提供を行った。

②大学説明会等の充実

本学志願者の約57%を占める熊本・福岡を中心に九州全県で受験生対象の大学説明会及び他大学との合同進学相談会等に年間90回程度参加し、約1,200名の参加があった。

また、本学教員による出張講義では、年間29回延べ29名を高等学校へ派遣し、出張講義(受講者数771名)による本学の教学内容の訴求に努めた。

(2) 財務計画

収入面では、本学園の帰属収入(本学園の負債とならない収入)の8割超が学生生徒等納付金で賄われていることを踏まえ、入学定員確保のための学生募集活動を強化した結果、新入生については定員の1.26倍となる452人を確保。平成23年5月1日現在の在籍学生数も前期の定員割れから定員の1.04倍となる1,497人となった。それに伴い、学生生徒等納付金は前期比3.7%の増収となった。また、学生生徒等納付金に次ぐ財源である補助金(国、地方公共団体等)等の外部資金についても獲得に注力した結果、前期比26.7%と大幅に増加した。

支出面では、本館教室の視聴覚機器および学内コンピュータシステムの更新に伴い多額の費用が発生したが、他の経費については優先順位に応じた業務見直しを行うことにより、削減を図った。

その結果、平成23年度決算においては約112,842千円の消費支出超過となったが、期初の計画に掲げた、現在学年進行中である新学科(鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科)設置に係る費用を除いた収支の均衡については概ね達成された。

2. 継続事業の概要

(1) 公開講座

大学の教育研究を社会に還元し、地域住民に学習できる機会を提供することは、社会に開かれた大学でありたいと考える本学の重要な使命であり、前期5回、後期5回に分けて10回実施し229名の受講があった。

平成23年度テーマ：地域と保健・医療・福祉

回	開講日	演 題	講師名
第1回	5月28日	東日本大震災での医療支援活動 ～保健師(看護師)・鍼灸師それぞれの立場から～	田口 太郎 中川 武子
第2回	6月11日	歯科衛生士が行う予防処置による歯周病への効果と全身への影響	金子 憲章
第3回	6月25日	“Little women”の父に学ぶ子育て論 —メグ、ジョー、ベス、エイミーに向けられた「超越」的眼差し—	山本 孝司
第4回	7月9日	いいお産はいい子育ての第一歩	梶原 和子
第5回	7月23日	「新しい公共」—市民的公共性への期待— 「政府が独占してきた公共」を市民は取り戻すことができるのか。	村田 文世
第6回	10月29日	単なるもの忘れ？ ～認知症を正しく理解し適切に対応しましょう～	浅海 靖恵
第7回	11月12日	高齢者の性	坂哉 繁子
第8回	11月19日	東日本大震災での医療支援活動(2)～被災地での鍼灸～	田口 太郎 村上 高康
第9回	11月26日	日本とドイツの戦後60年 —作為と不作為—	山本 務
第10回	12月3日	運動と生活 —筋力トレーニング1 私でもできる筋力トレーニング—	二宮 省悟

(2) 各種講習会等

①介護技術講習会

介護福祉士国家試験の実技試験については、平成 17 年度から介護技術講習制度が導入され、同講習の修了認定者については実技試験の免除が受けられることとなった。本学では昨年に続き下記の日程で実施した。

◎定員及び受講状況

実施日	開催場所	定員	申請者数	受講者数
8月27日、28日、9月3日、4日	九州看護福祉大学	40	51	40

②教員免許更新講習

改正教育職員免許法の成立により、平成 21 年 4 月 1 日から「教員免許更新制」が実施されている。これにより教員免許は更新制となり、更新のための講習を受けることが必要とされた。本学では下記の選択領域の講習を実施した。

◎定員及び受講状況

講習科目名	当初定員	最終定員	申請者数	受講者数
授業コミュニケーションの理論と実践	40	60	59	59
特別支援教育と発達障害	40	60	60	60
子どもの睡眠障害と不登校支援	40	60	60	60
学校事故における判断と対応	40	50	50	50
統合医療からみた心と体の健康	40	60	55	55
合計	200	290	284	284

※受講希望者多数のため当初定員を増員して対応

(3) 学生表彰

学長賞、理事長賞、功労賞など、学生が行った教育研究活動やサークル活動の中から特に優秀な成績を収めた個人、団体に対し表彰を行った。

区分	氏名・団体
学長賞	(個人) 看護学科 4年 <small>みやした りょう</small> 宮下 涼
	(個人) 社会福祉学科 4年 <small>みやその まりこ</small> 宮園 真莉子
	(個人) リハビリテーション学科 4年 <small>こみや ひろき</small> 小宮 洋輝
理事長賞	(団体) 東日本大震災救援ボランティアチーム
功労賞	(個人) 近藤 大翼
	(個人) 江崎 加奈子

3. 国家試験合格状況、就職状況

18歳人口の減少、看護・社会福祉・リハビリテーション関係学部・学科等が新たに設置される厳しい状況の下、学生を確保し、財政を安定させることが大きな課題である。学生確保のための方策には、大学の存在を示す広報活動はもとより、より良い教育を行うこと、国家試験の合格率を上げること、就職状況を更に改善・向上させることにある。以下に、それぞれの状況を示す。

(1) 国家試験合格率

(%)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
看護師	85.6	96.7	93.1	95.6	96.4	94.1
保健師	94.5	77.2	91.0	62.2	74.1	79.0
助産師	—	—	100.0	100.0	90.9	91.7
社会福祉士	22.8	27.1	24.2	29.3	32.2	41.7
精神保健福祉士	84.6	75.0	100.0	85.7	83.3	100.0
理学療法士	—	—	—	100.0	84.1	96.1

(2) 就職率

(%)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
看護学科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.1
社会福祉学科	95.0	97.5	97.7	98.1	99.2	95.7
リハビリテーション学科	—	—	—	100.0	98.1	100.0
全体	97.1	98.5	98.7	99.1	99.3	98.0

Ⅲ. 財務状況

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	科 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
固 定 資 産	5,864,743	5,650,742	5,983,731	固 定 負 債	146,263	159,202	172,833
有形固定資産	5,088,204	4,835,983	4,782,306	流 動 負 債	748,514	719,989	736,007
その他の固定資産	776,539	814,759	1,201,425	負 債 の 部 合 計	894,777	879,191	908,840
流 動 資 産	3,498,482	3,732,867	3,483,329	第 1 号 基 本 金	7,623,925	7,693,322	7,827,967
				第 4 号 基 本 金	111,000	111,000	143,000
				基 本 金 の 部 合 計	7,734,925	7,804,322	7,970,967
				消費収支差額の部合計	733,523	700,096	587,253
資 産 の 部 合 計	9,363,225	9,383,609	9,467,060	負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	9,363,225	9,383,609	9,467,060

消費収支計算書

(単位：千円)

消費収入の部	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	消費支出の部	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
学生生徒等納付金	1,655,872	1,714,531	1,778,405	人 件 費	1,064,633	1,205,444	1,292,714
手 数 料	43,784	52,638	41,188	教育研究経費	559,756	644,918	668,618
寄 付 金	10,849	6,850	6,604	(減価償却額)	(194,042)	(245,400)	(255,496)
補 助 金	243,493	244,980	310,354	管 理 経 費	214,544	177,818	173,758
資産運用収入	18,202	15,834	7,495	(減価償却額)	(29,738)	(33,717)	(33,075)
				資産処分差額	948	57	29
事 業 収 入	3,968	8,305	16,351	徴収不能引当金繰入額 (又は徴収不能額)	865	765	0
雑 収 入	23,577	21,834	28,524	消費支出の部合計	1,840,746	2,029,002	2,135,119
帰属収入合計	1,999,745	2,064,972	2,188,921	当年度消費収支超過額	△ 967,339	△ 33,427	△ 112,843
基本金組入額合計	△ 1,126,338	△ 69,397	△ 166,645	前年度繰越消費収入超過額	1,700,862	733,523	700,096
消費収入の部合計	873,407	1,995,575	2,022,276	翌年度繰越消費収入超過額	733,523	700,096	587,253

資金収支計算書

(単位：千円)

収 入 の 部	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	支 出 の 部	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
学生生徒等納付金収入	1,655,872	1,714,531	1,778,405	人 件 費 支 出	1,047,089	1,192,505	1,279,083
手 数 料 収 入	43,784	52,638	41,188	教育研究経費支出	365,608	381,923	413,122
寄 付 金 収 入	10,019	3,000	6,000	管 理 経 費 支 出	184,481	143,902	140,486
補 助 金 収 入	243,493	244,980	310,354	施 設 関 係 支 出	977,557	2,335	4,172
資産運用収入	18,202	15,834	7,495	設 備 関 係 支 出	195,574	20,966	230,343
事 業 収 入	3,968	8,305	16,351	資 産 運 用 支 出	30,000	17,000	353,000
雑 収 入	23,577	21,834	28,524	そ の 他 の 支 出	62,183	167,819	101,239
前 受 金 収 入	555,091	605,836	565,363	資金支出調整勘定	△ 140,740	△ 56,137	△ 113,499
そ の 他 の 収 入	24,163	30,234	20,032				
資金収入調整勘定	△ 518,235	△ 571,195	△ 661,488				
前年度繰越支払資金	4,118,542	3,456,724	3,712,408	次年度繰越支払資金	3,456,724	3,712,408	3,416,686
収 入 の 部 合 計	6,178,476	5,582,721	5,824,632	支 出 の 部 合 計	6,178,476	5,582,721	5,824,632